

Yonago East Weekly



【平和という未来に希望を持ち、ロータリーの出会いを楽しみましょう】

- 創立/1968年4月24日 ● 事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel(0859)32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ● 例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel(0859)36-1111
- 会長/佐田山有史 ● 幹事/船田正一 ● 会報/松浪昭二

出席報告

会員数 104 名
 出席数 104 名 欠席数 0名
 出席免除会員 6名
 荒川(雄)君 杉原(弘)君 新納君
 宮本(守)君 高橋君 小谷君

出席率 **100 %**

ビジター 11/1 河島隆則 (米子RC)

メイクアップ

理事 11名 (11/7 第5回理事会)
 会員 7名 (11/7 親睦活動委員会)
 会員 19名 (11/8 第1回家庭集会)
 会員 3名 (11/10 5RC野球代表者納会)
 会員 4名 (11/11 オレンジリボンたすきリレー)
 会員 28名 (11/12 中学生作文コンテスト表彰式)
 会員 11名 (11/17~19 第18回グレン&千杯野球大会)

今週のお祝

本人誕生祝 :

4日 山根 剛 君 5日 佐田山有史会長
 14日 野坂美仁 君 17日 足立耕太郎 君
 24日 安達聡子 君 26日 種田宏幸 君
 28日 小林由紀 君

スマイルBOX **79,000 円 (601,000 円)**

創立記念祝 : 由良君、永島(正)君、山崎君
 永島(清)君

本人誕生祝 : 佐田山有史会長、植田君、由良君
 岩崎(浩)君、野坂君、足立(耕)君
 種田(宏)君、小林(由)君

主・夫人誕生祝 : 細田君

結婚記念祝 : 西村(弥)君、今出君、小林(慎)君

出席100%祝 : **1年** : 由良君 **8年** : 楠君

- ❖ この度弊社運営大型モーターVISIONの企画を立案しました。『年賀広告』です。山陰屈指の交通量である米子市公会堂交差点前にある山陰最大級の大型VISIONで年賀の挨拶をリーズナブルに行えるお得なプランです。専用URLからのお申込みもできます。是非ご検討下さい。… 井上玲子 君
- ❖ 和菓子が美味しい季節となりました。本日『進物キャンペーン』のご案内を入れております。ご自分用、周りの方に差し上げる分と色々と使い道がございます。是非おひとつお願い致します。… 小林由紀 君
- ❖ ANAクラウンゴルフコンパにてベスト・準優勝させて頂きました。これも米子東RCの皆様のご指導のおかげです。これからも頑張りますので宜しくお願いします! … 森田進君
- ❖ 11月6日に事務所を移転しました。ANAホテルに近くなりましたので、お茶でも飲みにお立ち寄りください。… 中村剛士君
- ❖ 秋の叙勲を受け、皇居にて天皇陛下に拝謁して参りました。… 尾沢三夫君
- ❖ この度、秋の叙勲により旭日小綬章を賜りました。先週、最高裁判所長官から伝達され、その後、皇居で陛下に拝謁しました。…西村正男君
- ❖ 10月23日大山ゴルフ『グランドシニア選手権』で、チャンピオンになりました。… 佐田山有史会長

【 会長 挨拶 】



皆さんこんにちは。今日は記念すべくホーム出席100%例会でございます。このホーム出席100%例会の卓話講師にふさわしい、鳥取大学病院長武中篤先生に本日お越し頂きました。ありがとうございました。

我が米子東RCから西村正男会員が旭日小綬章を受章されました。また尾沢三夫君が旭日双光章を受賞されました。おめでとうございます。

去る10月20日、21日に地区大会がくにびきメッセ

で行われました。それぞれのRCが3年後、5年後のあるべき姿を描いてそれに向かって高い理想を持って行動せよということと、RCは寛容の精神を持って活動されることを強調されました。まさに米子東RCの皆様の寛容の精神によって私もこうして会長にさせて頂いております。11月11日、米子市東山中学校でオレンジリボンたすきリレーが(雨のため体育館にて)行われました。全国的に児童虐待対応件数は21万9,170件、鳥取県は昨年148件、内西部地区では76件です。すなわち5日に一度、大人の犯罪が子どもに対して行われているというのが実情



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

でございます。オレンジリボンの由来については、またインターネット等で皆さんご覧になってください。我がクラブからは私と船田幹事、中村会員、西村弥子会員が参加しました。子ども達からたすきを受け取る時に、全ての子どもが「幸せになるようにしてください」というような言葉を大人に対して言っていました。非常に大人として、胸が痛んで恥ずかしい思いをした次第でございます。

次に作文コンテストが11月12日、ANAホテルで行われました。会員を含め参加者が55名という大変多くの方に参加して頂き、最優秀賞、優秀賞、入選などを選ばせて頂きました。この作文コンテストは2000-01年度、当時お亡くなりになった秦野一憲氏（中海テレビの当時社長をされておりました）の提案によって吉岡会員の会長年度に始まった歴史あるコンテストでございます。

最後に100%出席についてですが、これは米子東

RC始まって以来のことだと思います。私が記憶する限りホームでの100%出席というのはあまり記憶にないと思います。このホーム出席100%を目指すにあたって、出席委員会リーダーの杉本真吾さん、サブリーダーの山崎さん、非常に苦勞されて皆さんの家、企業を訪問してZOOMの仕方を教えたり、色んなことをされて今日に至っております。このことはロータリーの友に投稿してもいいのではないかと考えております。もし万々が一本日、うっかりミスで忘れられる方がいるかもしれません。その時には地区大会で言っていた「寛容の精神」を思い出してください。またチャンスがあります。そのように一応皆さん心おいて頂ければと思います。以上で会長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

《 幹 事 報 告 》

- (1) 本日卓話講師 鳥取大学附属病院長 武中篤 様
- (2) 川添北斗会員 本日入会 会員数 104名
社会福祉法人 ぱれっと 理事長
- (3) RI第2690地区より感謝状 … 2022-23年度
ガバナー補佐 岩崎浩会員
- (4) 令和5年秋の叙勲
「旭日小綬章」… 西村正男会員
「旭日双光章」… 尾沢三夫会員
- (5) 2023-24年度シンガポール国際大会登録について
・登録料 2023.12.15まで … \$500
2023.12.16~2024.3.31 … \$595
2024.4.1~5.29 … \$695
- (6) 東京印刷株式会社杉原会員より2024年カレンダーを頂きました。
- (7) 他クラブ例会変更等
当クラブ … 11/22 休会
ビジター受付 … 11/20・27(月) 米子南RC
11/30(木) 米子中央RC

RI第2690地区より感謝状

2022-23年度
ガバナー補佐
岩崎浩 会員



『令和5年秋の叙勲』



旭 日 小 綬 章

西村正男 会員



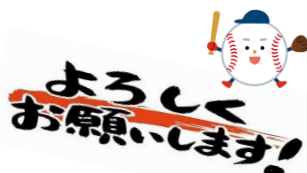
旭 日 双 光 章

尾沢三夫 会員



♪ 新 会 員 紹 介 ♪

社会福祉法人 ぱれっと
理事長 川添北斗 会員



【 次 回 プ ロ グ ラ ム 】

11/29 「ロータリー財団のイロハ」

… RI第2690地区 2016-17年度地区ガバナー（境港RC） 庄司 尚史 氏

「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会 (書面にて)

「ロータリーの友」11月号のオススメポイント

是非ご精読ください!

- OP5内 指定記事: 同会長メッセージ ゴードンRマッキーナリー 平和への道のり
- OP7特集 ロータリー財団月間・チャレンジ! 11月はロータリー財団月間です
- グローバル補助金プロジェクト、グローバル補助金申請について解説してあります
- OP18 11月5日を含む1週間は世界インターアクト週間
- インターアクターの声を高める4つの方法
 - 1 インターアクターの目標に向かって一緒に活動をする
 - 2 委員会、タスクフォースにインターアクターを加える
 - 3 リードを任せる
 - 4 気をつけよう 大人の思い込み

- OP20座談会 トレーニングからラーニングへ ~見直される学びのあり方~ 学びは学習者主体へ
- OP32ロータリーアクトワーク 18のロータリークラブの活動が報告されています
- OP40ロータリーアクトを高めよう 岡山大学ロータリーアクトクラブについて紹介されています! 2022年10月に創立され、現在会員数42名
- OP45内 指定記事: シンガポール国際大会 R1指定記事: ロータリー財団管理委員会からのメッセージ ロータリーがもたらす大きなインパクト
- OP52: 車中の泉「喪める」ということ: 日本探める達人協会 既婚者氏 ミスをした人には嫉妬と共感が大切。聞き上手のポイントは、自をみる、うなずく、相づちを打つ、繰り返す、メモを取る、要約する、質問する、そして笑顔が大事! などのお話
- OP59 講演 「照らし出す家族の像や大火火」 豊吉RCの馬野慎一郎氏 先月号にも載せておられました!
- OP64 嘉納治郎右衛門氏 大阪ロータリークラブ 菊正会に新風を吹き込む

文責: 西谷博紀

「地域におけるとりだい病院の意義と展望」

鳥取大学附属病院 病院長 武中 篤氏



皆さんこんにちは。本日は皆さんの前で話ができ光栄に存じます。また同業の医療関係者の先生方いつもお世話になっております。今日のタイトルは「地域におけるとりだい病院の意義と展望」です。私は2010年にこちらに赴任させて頂きもう14年になります。大学病院はどうあるべきかという事、実は最初にこれを言われた時僕はまだ医療のことしか勉強していなくてそこまでやる余裕があるのかと思っていたのですが、一昨年文科省の方から大学の指針が出まして国立大学のキャンパス等は国家的な施策であり公共財なので学問と研究教育だけではなく地元の方々と共に最大限活用すべしイノベーション・コモンズという考えができました。まさに我々が言っていた事と同じという話になり確信を得たわけです。我々の概要でございしますが、病床数 約700 外来の患者さんは1日大体1,500人から1,800人位の間にあります。職員が2,000人おり学生が1,500人位おります。これに病院に関わっていない基礎の研究者というのが数百人おりますので合わせますと6,000人弱が敷地内にいます。すごく人口密な領域であります。病院として何をやっていかないといけないか…大学病院は昔は国が全部お金を出してきていましたが平成16年から独立、自由化されました。大学病院というのは国で指定された80個くらいの病院ですが、それぞれの病院に得意な分野があってそれを分担していく、医療リソースの一番有効なやり方ですが、コロナで受診控えがあり、本当に必要な方だけが病院に行かれるようになりました。次に我々が行っています高度医療です。低侵襲外科センターといいまして、ロボット手術を中心にかなり日本で最先端の技術を誇っています。2010年10月に第1例目をさせて頂きました。それ以後、約3,000例弱の手術を安全にさせて頂いております。その次に腹腔鏡手術というのが出まして、これはキーホール サージャリーとも言われますが、1センチから5ミリ位の穴を開けて、そこから手の代わりにカメラ、操作の棒を入れて手術をするのですが、これはなかなか難しくかなり熟練のいる手術でありました。それを非常に簡便化したのが、ロボット手術です。非常に大きな10倍位の画像で双眼鏡の中に頭を突っ込むと見えますし、オーグメンテッドリアリティ、ナビゲーションとあって、指示を出すとそれに沿って行うという非常に教育的な部分もあります。非常に繊細に安全に手術できるというのがこのロボット手術の特徴です。色々な患者様にとってメリットがあるのは当然の事ですが、医師にとっても病院にとってもメリットがあるという事で非常に普及してい

ます。鳥取大学は日本で一番設備が恵まれた病院であります。ロボットもダヴィンチ、XIX、ヒノトリ、ヒューゴの4台です。3機種4台。日本あるいは世界で最高のラインナップです。これは国産のロボットですのでまだ海外では売っていません。世界で最大のスペックがこの米子市にあるという事を誇りに思って頂きたいと思います。日本で初めての術式で心臓のベンチ管の手術を鳥取大学で行いました。このように実績を十数年積み重ねて参りましたが、今後は研修センターや教育のインバウンド、特にアジアの人の研修センターを作ったり、ロボットに関する機器の開発にも携わってエコシステムが回るようなものをこの米子の地になんとか持ってきていたいと思って準備をしています。近々、メディアに出せるのではないかなと思います。次の高度医療は救急医療です。我々はドクターカーとドクターヘリというのを持っており、非常に出勤件数も増えております。上田君という方ですが、うちの病院で今一番メディアに出ている人ですが、京都アニメーション事件の青葉被告を治療した医師です。ご縁があって来て頂いておりますが、熱症の日本での最高のスペシャリストですので、彼を慕ってドクターもすごく増えています。非常に救急が増えているという状況です。もう一つのトピックスはスポーツ医科学センターを作りました。これは怪我をした方を単に見てあげるだけではなくてメンタルであったり、栄養であったり、骨とか運動だけじゃなくてその他色々なものが必要ですので、そういったものをフォーカス的にサポートするようなセンターを昨年作りました。高気圧酸素室も活用しています。鳥取大学では福利厚生を頑張っていてやっています。また患者サービスにも一生懸命取り組んでおります。7月に花火を駐車場で上げたんですが、これは一昨年ある先生が子どもに花火を見せてあげたいとクラウドファンディングでやることになりました。結局2年続けてできて大変喜んで頂けて良かったと考えています。最後に今後の展望、挑戦ですが、我々は以前から広報にすごく力を入れておりました。戦術的に広報を取り組んできましたが、今は広報ブランド「カニジル」というカニジルはカニの汁と、いかに医学を知るこの2つをかけてるんですがこういった広報活動をしております。ただ我々は今まで医学のことしかやっておりませんので、ブランディングについては全くの素

人でしたので、境港市出身の元読売の結城さんとノンフィクション作家の田崎健太さんの2人をブレンにして広報活動を展開しております。雑誌を年3回位出すのとBSS放送で土曜日12時25分からの番組をやっております。病院では見れない先生の素顔が見えたりして、すごく私自身勉強になりました。あとはカニジルブックストアがございませう。すごい本屋さんで書店の無人化をしたんです。日本で独立系書店は初めてなんです。これは田崎さんからの発想ですが、スマートホスピタルの第一弾という事を意識しています。2030年をめどに病院をスマートホスピタル開発していこうと思っています。今年には病院の基本構想を立てていて関係各所と交渉を始めました。この事業をやるには市民の方の後押しがなくてはできません。地域においてどういう医療体制が本当に理想的なのか。本来は患者さんというのは超重症は別にして、基本的には地元のクリニックの先生に行き行って頂いてそこで完結できるか、あるいは中規模病院にご紹介頂く、大規模病院に紹介頂く、これを区分けするのが限られた医療のリソースを最大限に活用する事なんです。これを口で言うのはすごく簡単ですが難しいんです。それはかかりつけ医と中規模病院、大規模病院との情報共有の連携ができていないんです。セキュリティーの問題等があってそれぞれの診療内容を簡単に見ることはできないんです。こちらの病院のデータをリアルタイムに我々が見

る事もできませんし、我々が行っている内容をフリーパスでかかりつけ医が見る事もできない。コンピューターもそれぞれ違うので一元化していかないといけないという事でありませう。幸い米子市と鳥取大学でデジタル田園都市国家構想を起こし、この春に採択をされました。色んなデジタル診察券という4つの病院で使える共通の診察券を作ります。データの一部もリアルタイムに見れるよう連携を深めていこうという事業が始まっております。それと私が思っているのは病院のファンになる、うちの自慢のホスピタルだよという病院になりたいという事です。健康な方も病院に来て色んな事をやって頂く事もいいんじゃないかなと思います。サポーター制度、ボランティア、モニターとかイベントの支援、広報の支援、もちろんイノベーションもあるかと思いますがそういった事に取り組んで参りたいと思います。米子市が医療都市でありますので、どのように活用されたら良いかという事をここにおられるテークホルダーの方々にもご協力ご検討頂いて、また一緒にやっていければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

ホーム出席100% 達成

